

2017 年度 GSK 医学教育事業助成の概要

学会名

日本リハビリテーション医学会

正式名称

リハビリテーション科医師およびリハビリテーション関連医療専門職に対する生涯研修体制構築

医学教育事業の概要

リハビリテーション医学・医療標準テキストに準拠した教材作成
医師および関連医療専門職に対する中央講習会開催
e-learning を用いた地域講習会開催と階層別習熟度調査

医学教育事業の対象者

主な医療関係者：医師、その他（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師等）
対象となる医療関係者の想定人数：10,000人

医学教育事業の必要性

超高齢社会を迎え、障害を克服し、機能を回復させ、活動を育むためのリハビリテーション医学・医療の重要性はますます高まっている。障害を持ちながら生活する住民の健康増進・活動性の維持のためには、急性期から生活期までのリハビリテーション医療の充実、均霑化が不可欠であり、リハビリテーション医療に関わる医療者の生涯教育体制の整備が喫緊の課題である。
このためには、リハビリテーション医学・医療の知識を標準化し、あらゆる地域でリハビリテーション医療に関わる医師および関連医療専門職に届ける必要があり、日本リハビリテーション医学会（JARM）はその基盤となる標準テキストの編纂と e-learning の構築を最優先課題の一つとして取り組んでいる。

医学教育事業の目的

リハビリテーション医療に関わる医師および関連医療専門職の生涯教育のためにリハビリテーション医学・医療標準テキストを編纂し、これに準拠した e-learning を作成する。e-learning 化は要介護になる主要因の一つの神経・精神障害分野から着手し、呼吸器等の他の分野に広げ、最終的には医学的リハビリテーションの主要分野を網羅する。e-learning のコンテンツは、医師および関連医療専門職を対象とした講習会を開催・収録するとともに、講習会前後に行う習熟度評価等を参考に編集して作成する。これをインターネット上に公開し、地域でのリハビリテーション医療の担い手に、オンデマンドでの研修の機会を提供する。

医学教育事業の計画・方法等

本事業は、1) リハビリテーション医学・医療標準テキストに準拠した教材作成、2) 医師・関連医療専門職に対中央講習会開催、3) 中央講習会を元にした e-learning のコンテンツの作成と配信・閲覧システムの構築、4) e-learning システムを用いた地域講習会の開催と階層別習熟度調査から構成される。まず、要介護に至る主要因の一つである神経・精神障害、さらに呼吸器障害を対象として作成する。
1) 教材作成：神経・精神障害分野の、脳卒中、認知症、変性疾患、脊髄損傷の4病態、呼吸器障害分野の、閉塞性肺疾患、誤嚥性肺炎、がんの3病態について、標準テキストに準拠した教材を作成する。
2) 中央講習会開催：上記を用いた講習と机上演習からなる中央講習会を各1回開催する。この模様を収録するし、受講前後の習熟度調査および講習内容に対するアンケート調査をもとに、教材および講習会の内容向上を図る。
3) e-learning のコンテンツ作成と配信・閲覧システムの構築：上記の講習会を収録したものを、医師と関連医療専門職が編集しコンテンツ化する。
4) e-learning を用いての地域講習会の開催と階層別習熟度調査：地域で e-learning を教材とした講習と実習を併用した少人数の講習会を開催する。研修結果を、医師、関連医療専門職それぞれで経験等の階層ごとに評価し、これをもとにコンテンツを改訂する。

医学教育事業の成果に対する情報共有について

e-learning として、JARM に所属する医師・関連医療専門職に公開する。また、関連医療専門職については、すでに研修について JARM と合意している日本理学療法士協会会員の研修への活用を検討する。